

令和4年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市比奈知市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの利用の許可に関すること ・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関すること ・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関すること ・その他名張市が別に定める業務

2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立入調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	地域の伝統として受け継がれている唐招提寺への竹の奉納も歴史民俗講座の一環として取り入れられており、学びと実践が両立されている。サークルの減少などにより、来館者数が伸び悩んでいるが、センターを訪れるきっかけの一つとするべく、喫茶スペースを開設した。今後はここをきっかけに生涯学習活動が広がることが期待される。
地域づくりの拠点（住民の居場所として住民の活動の拠点）としての役割を果たしているか	<p>ひなち地域ゆめづくり委員会の事務局としての機能を有し、各種事業の企画、運営の拠点となっている。</p> <p>新たに防犯カメラの設置や、スロープの手すりの設置など安心して利用いただける取組も行い、隣接の比奈知文化センターとともに、地域づくり活動の拠点としての役割を果たしている。</p> <p>村落地域と富貴ヶ丘住宅地域の文化や地域性の違いに課題を感じているものの、お互いの利点を生かし、地域が一体となったまちづくりが行えるよう議論が行われている。</p>

3 施設設置者（名張市）の総合評価

<p>近隣の小学校や保育所、文化センター等と連携し、地域の拠点としての役割を果たしている。</p> <p>地域ビジョンに基づき、夢広場やなごみを活用した活発な地域活動を行ったり、センターの歴史民俗講座における地域にゆかりのある偉人の展示を広く公開することで、地域文化の保存、継承に努めるなど、生涯学習に対する意識も高い。また、利用者の満足度の向上に向けた取組として、センターロビーにおいて新たに住民の憩いの場を設けるなど、サービス向上に努めている。</p> <p>また市民センターは災害時の避難場所になっており、地域社会の拠点として、引き続き適正な管理・運営に努められたい。</p>
